



勝浦ロータリークラブ

51期 THE WEEKLY REPORTS

2013-2014年度

No.02/Total 2370

例会：2013.07.12

発行：2013.07.19

R.I会長 ロン D. バートン

第2790地区 ガバナー
関口 徳雄 (浦安)

第5分区 ガバナー補佐
川名 幸雄 (千倉)

第5分区 幹事
鈴木 健史 (千倉)

第2790地区
ロータリー財団委員会
補助金小委員会 委員長
関 一憲 (勝浦)

第2790地区
ロータリー財団委員会
資金推進小委員会 委員長
伊藤 正人 (鴨川)

勝浦ロータリークラブ
会 長 中村 昇
幹 事 小林 悠紀

クラブ会報委員会
委 員 長 渡邊 ヒロ子
副 委 員 長 関 一憲
委 員 手塚 明宏
渡邊 光一

7月12日(金) ガバナー補佐来訪
会長所信表明

2013-2014年度
活動計画発表

7月19日(金) 2013-2014年度
活動計画発表

7月26日(金) 夜間例会

新旧歓送迎会

(例会場：海のホテル)

8月2日(金) クラブフォーラム

会員増強月間

(例会場：ブルーベリーヒル)

8月9日(金) ゲスト卓話

(例会場：海のホテル)



中村昇 会長挨拶

皆さんこんにちは。

この度、勝浦ロータリークラブ会長を就任することになりました中村でございます。至らぬ私ですがどうか1年間ご支援ご協力の程宜しくお願いいたします。今年は例年に比べ梅雨も

2週間ほど早く終え、今関東

上空には2つの高気圧が張り出し摂氏35度以上の猛暑日の毎日が続いております。全国的に熱中症の症状で病院へ搬送された人や亡くなられ方もいるようです。互いに体調管理には十分気を付けて過ごしてまいりましょう。

今期の勝浦ロータリークラブ会長の就任セレモニー的なものは全て終え、いよいよ新年度がスタートいたしました。前年度の古川範男会長はじめ中村満幹事、また、理事役員の方々におかれましては1年間大変お疲れ様で御座いました。本来ならば第一例会で、会長、幹事バッジの引継ぎをする運びでありましたが、以前から約束を取付けておりました福島県立盲学校でのコンサート等を、先日の4日、5日に開催させていただき、これをもって移動例会ということにいたしました。また、福島21ロータリークラブ、福島グローバルロータリークラブ、親クラブ合同例会の会場に於いてバッジの引継ぎを執り行いましたのでご了承いただきたいと思っております。

福島県では、会長、幹事の就任祝いとして鏡割り、ケーキ入刀、木やり等のセレモニーが盛大に執り行われ本当に恐縮の限りで御座いました。参加できなかった会員各位にも見せてあげられれば良かったと思ったくらい盛大でした。

本日は、前会長は所用のため欠席という事でございますが、福島での引継ぎをもってバッジの引継ぎは割愛させていただきます。

本日は、第二回例会に第5分区ガバナー補佐川名幸雄さんをお迎えし、大勢の会員出席のもとスタートができてまして実のところほっとしております。先代の各会長様方にはこの場をお借りいたしまして今までロータリークラブの発展に寄与していただきましたことに衷心より深く感謝と御礼を申し上げる次第でございます。本当に有難うございました。

本日は、勝浦での初めての例会ですので私から一言申し述べさせていただきます。すでに会員の皆さんはご承知かと思いますが、日本でのロータリークラブの発祥は、1920年10月20日(大正9年)東京ロータリークラブが全世界で855番目に誕生し、次いで大阪、名古屋、京都等と誕生を見たわけであります。勝浦ロータリークラブの発祥というのは、1963年(昭和38年)4月世界ロータリー第2790地区として、同地区内の18番目に誕生し今年50周年目を

迎える大きな節目の年となりました。当時は会員32名でのスタートでした。

活動といたしましては、①職業奉仕部門、②国際奉仕部門としての活動があります。今まで

① 職業奉仕部門の活動といたしましては、勝浦市内の小学、中学校生徒の血液検査の継続実施や1万人チャリティーコンサートを開催

② 国際奉仕部門としての活動としては、青少年交流として、海外国から50人以上の派遣と併せ受入れ、ネパール国山村学校支援を8年前から実施

その他、和歌山県那智勝浦との姉妹クラブ締結、福島県立盲学校生徒と保護者を勝浦に招待、震災で受けた精神的被害回復の為の癒しになればということで、乗馬、海水浴、ブルーベリー狩り、漁港でのエビ網魚体験などなど心温まる持て成しをするなど素晴らしい実績を積み上げていただきました。

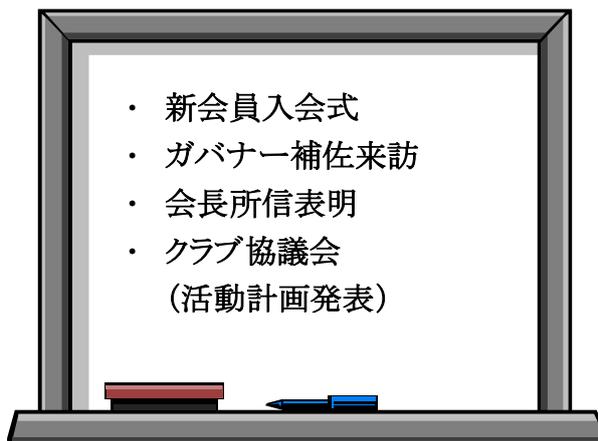
第51代の会長という大役を仰せつかりまして身の引き締まる思いであります。会長という重責を先代の会長様方のようにやっていけるか不安でいっぱいですが引き受けた以上しっかりとその任に当たり、職責を全うしていきたいと思ひます。全うしていく上で、会員の方々にも沢山の助言や叱咤激励をいただければこの上ない喜びで御座います。伝統ある勝浦ロータリークラブを愛しながら皆さんと共に他のクラブ同様の運営、組織活動が出来ればと考えております

皆様方からの絶大なるご支援ご協力をいただきながら会の運営に携わってまいりたいと思ひますので幹事の小林さん共々宜しくお願い致します。

意を尽くせませんがこれをもちまして私の挨拶とさせていただきます。



本日の例会プログラム



◆ 新会員入会式



神村彰男君／推薦者：千葉正徳君 中村昇君
新年度早々に、山形、米沢出身だと仰る、とても温厚で優しい雰囲気の新村さんをお迎えできて、大変幸せです。どうぞ宜しくお願い致します。(職業分類：税理士)

◆ ガバナー補佐 川名幸雄 様

ロータリアンには伝道的な役割がある。自己研鑽に励み、この世を道徳心の溢れた社会にするお手伝いをする。『細道を譲りて待つ自転車の少年われに会釈して行く』のお話が印象的でした。『他人を思いやる心、気配りする人間でいっぱいになりましょう。ささいな思いやりが平和に繋がっていく』と穏やかにゆっくりお話しくださる川名ガバナー補佐自身が、この言葉とおりのお人柄に感じられました。分区幹事の鈴木健史様もご来訪いただきました。本日はありがとうございました。



◆ 会計報告および監査報告 関正巳 君

2012年7月1日より2013年6月30日における会計監査を厳正におこなった結果、一般会計、特別会計、事業報告書ならびに収支報告書、帳簿および関係書類等すべてにおいて、適正かつ妥当である事がご報告されました。



◆ 委員会報告

インターアクト委員長 斉藤豊久 君

今年のインターアクトとしての活動は、被災地福島への支援活動として、募金ではなく、品物を集めて現地に送ることになりました。

タオル、バスタオル、おなべ、フライパンなど未使用のものがあつたら、箱に入ったまま持ってきてください。インターアクトが分類分けするので、8月の第一例会までお願い致します。



◆ フィリップ君 挨拶

あと少しで帰国するフィリップ君、だいぶ日本語も上手になりました。



《 お知らせ・お願い 》

フィリップ フォンテイン君 帰国

すっかり勝浦にもロータリークラブにも馴染んだフィリップ君が帰国します。とても名残惜しいし寂しいですね。皆さんでお見送りしましょう！

1) 日時：平成25年7月28日（日曜）

午前9：00出発

2) 集合場所：勝浦市営駐車場

※出発便など詳細は、千葉カウンセラーまで

クリーンキャンペーン in 南房総 2013年

勝浦ロータリークラブの協賛事業です。会員と家族で参加し、豊かな自然環境に貢献しましょう！

1) 日時：平成25年7月20日（土曜）

午前8：00～11：00

2) 集合場所：勝浦中央海岸東側

※水筒・軍手を持参してください。



◆会長所信表明



本年、勝浦ロータリークラブ創立50周年記念式典も滞りなく成功裡に終わり大きな節目の年になり、勝浦ロータリークラブにとっても会員にとってもいろいろな意味で有意義な年になることでしょう。改めてロータリークラブとは、ロータリアンとは、そして勝浦ロータリークラブとは何だろう？これからの進むべき道はとを考えます。

2013～2014年度は半世紀の大きな節目後の新たな半世紀がスタートする年度です。半世紀の伝統ある当クラブの認識を深め、さらに素晴らしいロータリアンを目指す事が充実した勝浦ロータリークラブの発展に繋がると考えます。

○ 本年度のテーマは、

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

「ロータリーを実践しみんなが豊かな人生を」です。国際ロータリー会長 ロンDバートンさんは、人生におけるあらゆる物事と同じように、ロータリーの奉仕では、努力すればするほど、多くを得ることができます。形だけの努力だけなら、大した成果は上がりませんし、本当の満足感を得られないでしょう。しかし、ロータリーを真に実践し、ロータリーの奉仕と価値観を日々活かす決意をすれば、自分がいかに素晴らしい影響をもたらす事が出来るかが見えてくるでしょう。そうして初めて人々の人生を真に豊かにしようというインスピレーション、やる気、パワーが湧くのです。そして何よりも、あなた自身の人生が一番豊かになるはず。皆さんは、ロータリーの襟ピンを身に付ける事を選択しました。これからどうするかは、皆さん次第です。と述べています。

ORI会長は本年度3%の会員増強を目標として掲げております。関ロガバナは、3人組行動隊組織を活用し、各委員は工夫を凝らした各クラブを指導して頂きたいとの提

案をされていますが、当勝浦ロータリークラブでは、昨年3名の素晴らしい新会員が入会され大きな力となっております。本年度も昨年同様3名の新会員の増強を目標に掲げたいと思います。

○公共イメージの推進（ロータリーブランドの強化）

（一般市民にはロータリーの存在を知ってもらうよう指導助言して行く。）RIとしては、目指す戦略計画の三項目のうち、公共イメージの認知度の向上を目標としております。勝浦ロータリークラブの50年の歩みを振り返る時、その地道な活動は大変素晴らしいと自負しておりますが、まだまだ一般市民にはロータリークラブの存在そのものの認知度が低いためその存在自体を市民に知ってもらう必要があると感じます。ロータリークラブとは何であり、何をしている団体なのか、このことを強く念頭に置いた奉仕活動を展開していかねばなりません。特に、ここ数年の勝浦ロータリークラブの社会奉仕活動は活発に展開されておりますが、今年度は、テレビ等マスメディアを活用、利用してのロータリークラブの存在の周知徹底を図って参りたいと思っております。引き続き本年度も社会奉仕活動には力を入れたいと考えます。

○勝浦ロータリークラブにおいては、月平均4回、各1時間程の例会を金曜日に開催しておりますが、その例会は、勝浦ロータリークラブでの活動に占める割合は大変大きく意義深いと考えます。よって、奉仕と親睦のバランスのとれた実践により楽しくより充実した例会にしたいと思っております。更には、各委員会が活発に開催されるとともに、ひとり一人のロータリアンとしての質の向上を図りたいと考えます。

○また、私が日頃考えていることを申し上げさせていただきます。

先代の会長さん達が推進してきたことに加えるとするならば、その一つにペットボトルキャップの回収・売却を勝浦市あげての取組みにしたいと考えます。その音頭取りを我がロータリークラブが担おうというものです。既にご承知のことと思っておりますが、ペットボトルのキャップがワクチンに変身します。



世界では、ワクチンの不足が原因で毎年多くの子供達の命が失われている実態を知るにつけ何としてでも救いたい気持ちになります。私たちも小さい頃に受けた予防接種のお蔭でポリオ（小児麻痺）や、はしか、ジフテリア、百日咳などの6大感染症から守られているのです。

そのことからワクチンさえあれば世界の子供達の命を守れるのではないかと思ひ、ペットボトルのキャップの回収を勝浦市議会にも働きかけ、勝浦市民全員の取組みとして実践していきたいと思ひます。

ちなみにキャップ2キログラム（約800個）当たり3～40円相当でリサイクル業者に売却、うち20円位が世界の子供一人のワクチン代になるわけです。よって世界の子供たちの命を救うという意味からも是非とも実現してみたいと思っております。どうか会員各位の積極的な検討を期待して私の挨拶を終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

◆ クラブ協議会

米山記念奨学会委員長 西川佳璋 君

米山奨学会は、世界平和実現の為、世界の研究者が日本に留学してきたときに支援することを目的に組織された。地区に送金する普通寄付と特別寄付合わせて金10,000円（5,000円×2回）の徴収に理解を求め、米山奨学会に対する協力を得るように努める。



◆ クラブ協議会

本日は、時間の関係で西川委員長のみにさせていただきましたが、19日（金）に引き続き、クラブ協議会をおこないます。関係者は準備、宜しくお願い致します

◆ 前出席委員長 前田安彦 君

昨年度の皆出席者で6月の例会時にお渡しできなかった会員2名（渡辺昌俊君、村石愛二君）に、記念品が渡されました。



◆ 出席報告 出席委員長 手塚明宏 君



会員数	39名
出席者数	30名
MakeUp数	7名
欠席者数	2名
出席率	94.87%

